

7月6日(火) 日程詳細

13:00	会議室受付	(クラス)	(授業者)	(教科)	(会場)
13:20	5限公開授業	2年国際C	安松 志奈	国語	第2MM教室
		2年9組	鈴木 基広	数学	被服室
14:10		1年8組	酒井 得郎	英語	1-8教室
14:20	協議(希望者)	第1MM教室			
随時解散					

主な内容・ICT活用

(国語) 1人1台タブレット

前時までで作り上げたロイロノートでのグループ活動(共有ノート)を振り返る。その意見を各自がまとめ、新しいカードとして本の帯タイトルを作成。提出された成果物をアンケートカードを用いて投票する。

(数学) 1人1台タブレットまたは生徒スマホ

ロイロノートを活用して、木をイメージしたイラストカードと数学の問題をリンクさせる(写真で切り取りまとめる)。各分野ごとに共有ノートを用いて、グループで「数学の木」を作成する。夏季休業を前にして、生徒一人一人が復習すべき部分を明確にしていく。またその後、それぞれの木同士をまとめ「数学の森」を作成することで、数学全体を体系化し、深い学びに繋げていく。

(英語) 2人1台タブレット

LESSON3 The Adventures of Ishikawa Naoki

画像カード等を用いて本時の内容についてのまとめを行う。また、ロイロテストカードの活用して理解度の確認をする。

カードの回収と画面共有機能を活用し、提出されたカードをもとに全体の場で答え合わせを行う。

ロイロノート・スクール実践報告

〈はじめに〉

本校では特定の先生や教科だけのロイロノート利用ではなく、教職員全体での利用や生徒が様々な教科で日常的にロイロノートを活用して学習できる環境を目指しています。現在においても普通の校務・授業を基本にしながら、ロイロノートが活用できる場面を探し続けています。ここでは、今まで各教科で活用できた場面の報告と授業以外の部分においてロイロノートを取り入れた事例の報告をします。

〈ロイロノート・スクール利用のメリット〉

- 授業内容以外の部分（問題配布・回収など）の時間短縮 → 考える時間の確保
- 生徒一人ひとりに応じた指導を可能にする
- 校務の効率化・迅速化
- ペーパーレス会議による経費削減

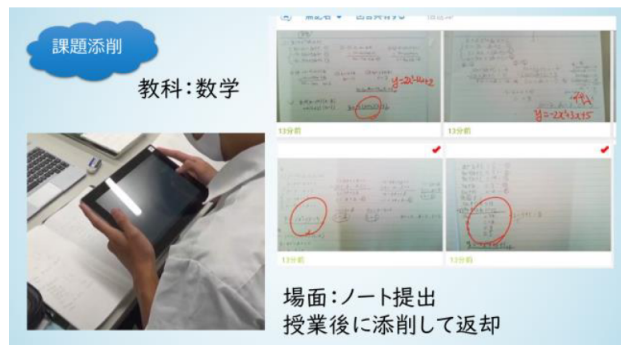
〈場面1〉授業の振り返り

数学の授業において、最後の10分間にロイロノートを利用。この時間で学習した内容を自分の言葉でまとめ、カードに記入して提出する。自分の理解度に応じてカードの色を変えさせている。分かったつもりになっている生徒(理解しているカードを出したが、次の授業で解けていない生徒)を見つけることに役立っている。



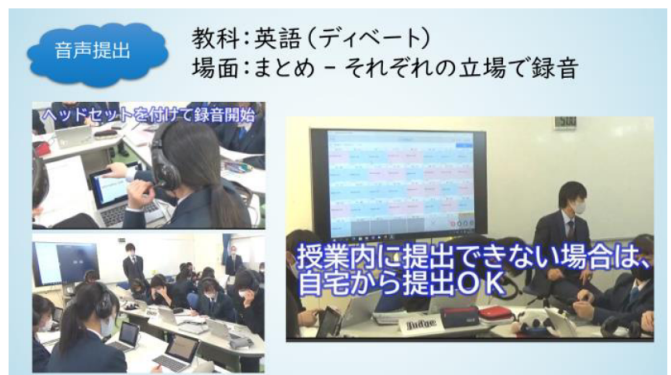
〈場面2〉課題添削

ノート回収→先生が添削→生徒に返却という一連の流れをロイロノートで行っている。数学の問題の解答を生徒がロイロノートで写真を取り、提出箱へ入れている。生徒のノートがずっと手元にあるという点についてもメリットがある。教員は時間のある時にタブレットを開いて添削し、返却している。



〈場面3〉音声カードの利用

英語の授業では、英文を読んでくるという課題をロイロノートで行なっている。音声をカードに録音して提出させるが、生徒は自分の音声を何度も聞き返すことができる。そして、納得のいくまで録音を繰り返す生徒もいて、自然と繰り返しの学習ができ、効果的に活用できている。



〈場面4〉意見の集約

授業で何か意見を聞くときに2~3人の生徒に指名をする場面は多い。今までは指名した生徒の回答を受けて授業を進めていくが、ロイロノートを使うことで全体の意見の中から抽出して授業を進めることができるようになる。匿名性もあり、生徒の素直な意見が引き出しやすい。

意見集約 教科:現代文 場面:歌詞の思いを読み解く

個人指名をせず、意見を聞くことができる

君に対して何の感情もないけど、「僕」も少し寂しい気持ちだった。

三年かけて君を忘れたと思ってたけど、やっぱり君は君に会ってほしい。

君がなくて寂しい気持ち。香水の匂いがするから。

会いたいとは思ってないけど連絡されると思い出してしまう

〈場面5〉意見交換

他の生徒の考えを知るためにロイロノートはとても便利である。情報の授業では30分程度の動画を観てその感想を200字程度でまとめ、意見交換を行なった。提出箱に共有をかけることで、他の人の意見を知ることができる。小論文対策としてもとても有効的である。

意見共有 教科:情報 場面:動画視聴後に感想を記入

回答を共有して他の考えを知ることができる

英語はアメリカ文化を学ぶためのツールである。英語を学ぶことは、アメリカ文化を理解するための重要な手段である。英語を学ぶことで、アメリカ文化の魅力を体験することができる。英語を学ぶことで、アメリカ文化の魅力を体験することができる。

英語を学ぶことは、アメリカ文化を理解するための重要な手段である。英語を学ぶことで、アメリカ文化の魅力を体験することができる。英語を学ぶことで、アメリカ文化の魅力を体験することができる。

英語を学ぶことは、アメリカ文化を理解するための重要な手段である。英語を学ぶことで、アメリカ文化の魅力を体験することができる。英語を学ぶことで、アメリカ文化の魅力を体験することができる。

〈場面6〉全校集会

全校生徒が集まって話を行うことが難しくなった中、本校は校内LANを利用したLIVE配信で全校集会を行なっている。この集会の話の中で、生徒にスマホを出させて、ロイロノートを利用して全校でのリアルタイムアンケートを行った。「今年度頑張りたいこと」という質問で、選択式の回答を行いその集計結果を見ながら話をした。

アンケート 場面:始業式(全校集会)

一方通行のLIVE配信に双方向性を感じることができた。

今年度頑張りたいこと

勉強 35%

運動 25%

読書 20%

旅行 15%

その他 5%

〈場面7〉朝礼・職員会議

本校の朝礼や職員会議はロイロノートで行っている。ペーパーレス化に加え、印刷の手間が減り、仕事の効率化に役立っている。朝礼ではカードの色に意味を持たせ、見つけやすい工夫をしている。また、その場に出席できない場合でも、同じ連絡を知ることができるという大きなメリットがある。

会議 場面:朝礼・職員会議など

印刷が不要になり、どこでも連絡内容を知ることができる

★朝の伝達事項

運営委員会 00 過ぎ分

科主任会 15日(木)

学校評議員会 16日(金)

教務部会 19日(月)

初任研 20日(火)

職員会議 22日(木)

新転任オリ 23日(金)

第3学年 未来の教室

<保健委員会日程>

保健委員(必ず2名と)

3年生:第2講義室 併

2年生:第1講義室 併

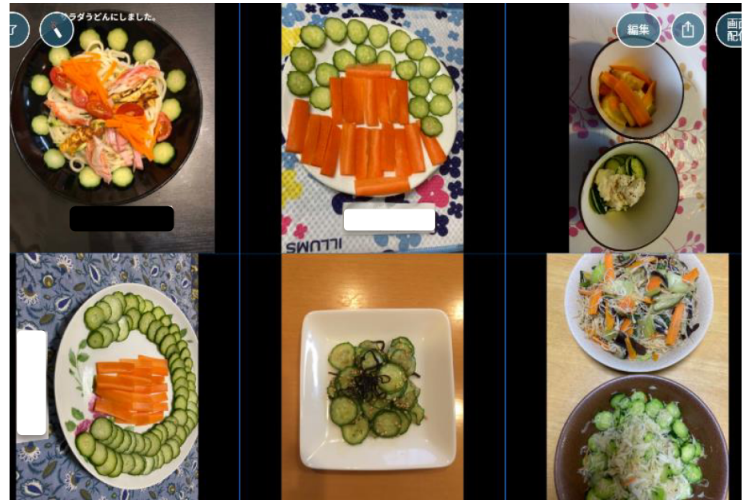
1年生:第1講義室 併

検校のための作業

R3 年度に入りロイロノートを活用される先生が増えてきてきました。

〈場面8〉調理実習

コロナ禍の影響で家庭科の調理実習ができない状況となった。本校では、事前に包丁の使い方などの動画を見せ、家庭において切った野菜や調理後の写真を撮り、ロイロノートでカード提出させている。スマホを利用して写真を撮る生徒も多く、スマホの学習利用について保護者の理解も進んできている。

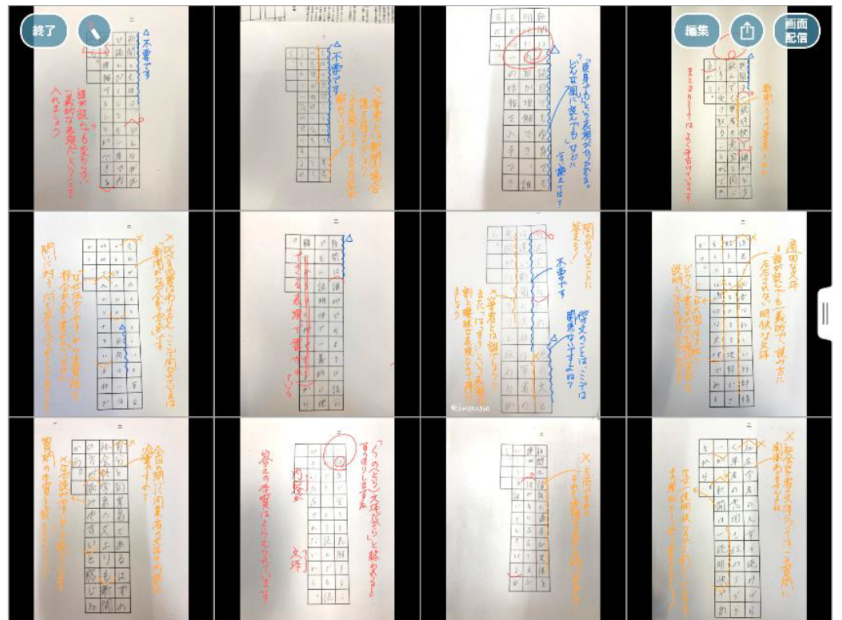


〈場面9〉国語添削(3年課外学習)

希望者の課外学習において、独自のクラスを作成し、スマホ持参で講義を行っている。入試問題を解き、その解答をスマホで撮影し提出。後日、教員が添削をしてカード返却する。

教員の Surface Go はタブレットモードにして、ペンを利用することできれいに文字を書くことが可能である。

記録が残り、いつでも振り返ることができる点についてもメリットがある。



〈場面10〉共有ノート

同じノートを使いリアルタイムで作業ができる「共有ノート」というものが2021年6月(β版)から登場している。情報の授業で使ってみたところ、話合わないグループワークとして、とても面白い機能であった。

付箋を貼る感覚で、各自が調べた内容を記入していき、グループでまとめた。

